



BE THE INSPIRATION

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ

2018-19年度 国際ロータリー会長 バリー・ラシン 「BE THE INSPIRATION—インスピレーションになろう」
 2018-19年度 第2570地区ガバナー 茂木 正 「想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する」
 2018-19年度 志木RC会長 林 康雄 「凛として挑む 一 衆の目的を目指し」

第2263回 例会

2019-1-16

- ◎司会 高橋健一郎 副会長
- ◎点鐘 林 康雄 会長
- ◎ソング 我等の生業
- ◎ソングリーダー 星野 博之 会員
- ◎四つのテスト 星野 博之 会員
- ◎ゲスト 石井真由佳様（卓話者）
中島 優希様（埼玉大学）



ソングリーダー・四つのテスト星野博之会員

「会長挨拶」

会長 林 康雄

13日の日曜日、私は日豪青年相互訪問で来日したオーストラリアチームのウエルカムパーティーへ参加するため川越駅を降りました。会場へ向かう道すがら、晴れ着姿の新成人のお嬢さんを何人も見かけました。

1月13～14日は好天に恵まれ、皆様もあちこちで成人式の晴れ着姿の二十歳の女性を見かけられたと思います。昨年、晴れ着レンタル業者の詐欺事件が起き、ご両親と二十歳の娘さんの想いを台無しにしてしまったことが残

念な記憶として残っていますが、今年艶やかな着物姿のお嬢さんの笑顔とそれを見守るご両親の姿を見かけると、日本の風物詩として欠くことが出来ないイベントであると思いました。

未婚女性の正装の和服は振袖と言われます。成人式で振袖を着るのは、江戸時代のころ18歳になると大人になった証として袖の袂を切って縫い、そこから袖丈一杯の留袖にする風習があったことから由来すると言われてます。また、昔は長い袖を振ることで神を呼び寄せる「魂振り」を行い、神の魂を振るい立たせていました。しかし、いつしかそれは神だけでなく、意中の人と心を通わせるために袖を振るようになったそうです。そのため、振袖は人との縁・魂を呼び寄せる清らかな着物として、成人式で着られるようになったそうです。また、ゆらゆらと揺れる長い袖は、厄を払うとも言われ、人生の門出に身を清めるという意味も込めて成人式で振袖が着られるそうです。

ところで、昨年 6 月に成人年齢を 20 歳から 18 歳に引き下げる改正民法が可決成立しました。施行日は 2022 年 4 月 1 日となっています。これによって、2022 年 4 月 1 日に 18 歳、19 歳の方はこの日にまとめて新成人となります。

外国の成人年齢を見ると、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア等のヨーロッパ諸国は殆ど 18 歳で成人です。韓国、タイ等は 20 歳。インドネシア、シンガポール、アルゼンチンは 21 歳となっています。アメリカは州によって 18 歳～21 歳と様々なようです。世界的には 18 歳成人が大勢を占めているようです。

我が国では平成 19 年に憲法改正のための国民投票権を有する年齢が満 18 歳以上となり、平成 27 年 6 月には公職選挙法が改正され、選挙権を持つ年齢が 18 歳以上となりました。そして、2022 年 4 月から民法上の成人年齢が 18 歳以上となります。

2022 年 4 月 1 日以降は、18 歳以上で親権者の同意がなくても、ローン契約を締結したり、クレジットカード契約をしたり一人暮らしの部屋を借りたりすることが可能になります。単独で契約の当事者になることが出来るということです。このことは、18 歳、19 歳の年齢の方と取引する相手方の安全と利便性を高めることにはなりますが、一方で悪徳商法等に対抗する未成年者取消権を行使出来なくなる弊害もあります。

飲酒は未成年者飲酒禁止法で「満 20 年に至らざる者は酒類を飲用することを得ず」喫煙は同様に未成年者喫煙禁止法により、「満 20 年に至らざる者は煙草を喫することを得ず」と定めているため民法上の成人年齢が 18 歳に引き下げられても 20 歳未満は禁止されません。

競馬・競輪・競艇・オートレースなどの公営ギャンブルは、それぞれ競馬法、自転車競技法等の特別法があります。どの法律も単に「未成

年者は投票権を購入することを禁止する」となっていて、2022 年 4 月から自動的に 18 歳から購入可能になるかと思われましたが、民法の成人年齢が引き下げられたことに伴って、公営ギャンブルに関する 4 つの法律は「満 20 歳未満の者は投票権を購入できない」と改正されましたので、これによりこれまで同様 20 歳にならないと公営ギャンブルの投票権を購入出来ません。なお、パチンコは公営ギャンブルではなく風営法の規制を受け、従来どおり 18 歳未満が入店禁止です。

心配なのが、成人年齢が 18 歳に引き下げられる以降の 2023 年 1 月の成人式がどうなるかです。2023 年 1 月は 18 歳～20 歳までの通年の 3 倍に人が成人式を迎えることになり、美容院や晴れ着業界も大混乱となる可能性があります。また、18 歳の 1 月は受験シーズン真っ只中で成人式どこの話ではないという受験生の声もありそうです。今まで通り 20 歳で成人式とするか否かは、最終的には各自治体の判断に任せられそうですが、日本の着物文化の象徴的なイベントである成人式の取扱いが全国バラバラになってしまうというのは如何なものかと思ってしまうます。

「理事会報告」(1/9開催分) 会長 林 康雄

1. 移動例会（新年会）の登録料の件
1月30日(水)うみ道楽志木店
2. 移動例会（香川市長卓話）の登録料の件
2月13日(水)ベルゼン

「幹事報告」 副幹事 三上隆俊

1. 地区事務所より 3 件受信
 - ①クラブを成功に導くリーダーシップ：会長編 送付の案内
 - ②2018-19 年度第 3 回クラブ奉仕部門セミナー開催の案内
日時：2月24日(日) 点鐘 13:00
場所：紫雲閣

- ③地区役員の派遣についての願い
2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま 226号☆2019年1月15日発行受信
 3. 和光 RC より 2018年度第5回会長・幹事会開催の知らせ受信
日時：1月23日(水) 18:00～
場所：ベルセゾン「吉祥」
 4. 新座 RC より第2グループIM(都市連合会)出席の願い(各市商工会青年部長宛)
日時：2月16日(土) 登録13:00
場所：ベルセゾン
 5. 志木市商工会より会費納入の依頼書受信
平成30年度下期分：5,400円
 6. 志木市スポーツ少年団より指導者交流会開催について受信
日時：2月6日(水) 10:00～11:30
場所：市民会館パルシティ 1階103南北

費用：学生無料(ロータリアン登録料2,000円)
場所：ウェスタ川越
講演テーマ：「国際社会におけるリーダーとは」
参加者：米山記念奨学生・青少年交換学生・ローテックス等
当日は昼食も出ます。是非とも参加協力宜しくお願い致します。



「卓話者紹介」

内山雄二郎会員



「委員会報告」

●親睦活動委員会

委員 宮田泰彦



新年会開催について

1月30日(水)の移動例会は、新年会を企画しました。

当日の会費4,000円を来週例会時に集金させて頂きたいので、宜しくお願い致します。

●青少年奉仕委員会

委員長 田中幸彦

2018-2019年度ライラダー開催のご案内

日時：2月11日(月)建国記念の日

登録 10:00～10:30 点鐘 11:30

ワークショップ 13:30

閉会 16:00(予定)

「卓話」

「いろは通学合宿報告」

いろは通学合宿実行委員会 会長 石井真由佳様

〈いろは通学合宿の沿革・概要〉

いろは通学合宿は、地域力の向上を目的として企画されていた志木市地域向上委員会が主催して、学生ボランティアや地域の皆様と協力しながら合宿を開催してきました。平成23年度からは学生ボランティアを中心として「いろは通学合宿実行委員会」を立ち上げ、埼玉大学のコラボレーション教育専修

例会は変更になる場合があります。ご確認下さい。

■新座 RC (木) 12:30～13:30 ベルセゾン

■和光 RC (月) 12:30～

郵便事業(株)和光支店3F

第2グループ各RC 例会日・会場一覧

事務局 048-473-7041

事務局 048-465-0088

2263-3◇

志木 RC 会報



(現:教育学専修いのちとくらしの教育領域)のゼミを中心に学生を集め、毎年メンバーは入れ替わりながらもより良い通学合宿を目指し準備を重ねてきました。それまでの志木市向上委地域員会では、大人の責任と地域社会の中での子育てについて一緒に考えるために活動しており、発足した「いろは通学合宿実行委員会」でもその思いを引き継ぎ活動しております。

これまでのいろは通学合宿では、秋ヶ瀬スポーツセンターや志木市総合福祉センターを利用し、宿泊活動および夕食づくりを行っていましたが、昨年度は施設の改修工事のため使用していた施設が使えず、志木市いろは遊学館に場所を移し一日型のイベントとして開催いたしました。今年度は施設の改修工事が終了し、使用できることになりましたので、例年通り「合宿」を行います。

いろは通学合宿では、普段はご家族に頼りがちな食事の準備・片付け、就寝準備等を経験することで達成感を味わい、さらには保護者の方々に感謝の気持ちを持って合宿を終えられるよう様々な工夫をします。また、合宿での共同生活において社会のルールやマナーを身につけたり、仲間との協力を要する活動を通して積極性や協調性を育んだりすることを目指しています。第14回目を迎える「いろは通学合宿」では、以下の3つを目標に掲げて行います。

◎仲間と寝食を共にすることで社会のルールやマナーを身につける

◎仲間の協力を必要とする活動を通して積極性や協調性を育む

◎家族への感謝の気持ちを持つことができる
この目標をもとに活動内容や子どもとの関わりを学生は考えていこうと思います。

〈いろは通学合宿の意義〉

○活動に関わる「学生」にとっての意義

いろは通学合宿は、学生が一から企画・運営してつくるものであるため、学生のうちに何かを自分の手でつくるという経験ができます。また、そこで共に企画・運営をした仲間とのつながりも学生にとっては大切なものになります。

合宿に関わる学生は「教育学部」の者ではありませんが、教育学部に所属しているからといって、子どもたちと関われる機会は多くありません。教育学部で教育について学んでいる者、将来教員を目指す者にとって、子どもたちと関わる経験を重ねることは将来に直に結びつきます。そして、この合宿が「学校」を離れた場面であることもとても重要だと感じています。教育実習でみられる子どもたちの姿は「学校での子ども達の姿」であり、学校を離れたときの子ども達の様子を知る機会はなかなかありません。学校では見られない、学校とはまた違った子ども達の様子、笑顔、関わりがこのいろは通学合宿にはあります。それを得るために学生は一から企画・運営に励むことで、学生にとっても将来をより良くする経験の一つになると考えております。

○活動に関わる人・地域社会にとっての意義

今日、核家族化や人間関係の希薄化等、家庭や地域社会を取り巻く環境が変化していくなかで、子育て家庭をめぐる問題は多様化しています。そのなかで、子育て・親・子どもを社会全体で見守り育てていくこと、安心して人々のつながりのなかで子どもを育てられる環境が再び地域社会に求められていると思います。その環境をつくることは、子育てをする

家庭のためだけではなく、そこで暮らす全ての人々が生きやすい場所になります。その第一歩として「いろは通学合宿」が存在し、地域の方々と一緒に活動することで、自分も地域づくりや地域の子どもを育てることに関わっていることを感じていただき、また子どもを参加させた親には自分の子どもは地域の方々に見守られながら・助けられながら育っていることを感じていただければ、それが活動に関わる人・地域社会にとっての意義になるのではないかと考えております。

〈参加した子どもについて〉

参加する子どもは志木市内にある公立小学校(8校)から募集しています。8校から募集しているため集まる子どもたちは様々で、子ども達は友達のを輪を広げる良い機会になります。参加した子どもからはよく「来年も参加したい!」という言葉がいただきます。そのため、リピーターの子も多く、通学合宿は年に一度ですが参加する学生のなかには子どもとの関係ができている者もいます。昨年度の一日型のイベントでは、みんなで作ったご飯を「おいしい」と食べ、多くの子どもがおかわりをしていました。レクリエーションの時間ではグループ対抗ゲームを行い、グループで作戦を考え、協力して行いました。どのようにしたら勝てるか子どもたちは意見を出し合い取り組んだ活動は子どもたちにとって良い経験になったと思います。最後の閉会式では「ありがとう」という言葉を子どもからいただくこともあり、とても素敵な子どもたちの姿をたくさん見ることができました。今年度もそのような子どもたちの姿を引き出せるよう、学生一同尽力を尽くして取り組んで参ります。

創立記念日特集：志木ロータリークラブ会報アーカイブ「忘れ得ぬ人」

1996年2月15日 IM都市連合会

講演

「席を立つ時には、

挨拶をいたしましょう」

IMリーダー

パストガバナー 相原茂吉様

皆さん今日は。数週間前、政府は「いよいよ景気は底をついた」と発表いたしました。失業率や雇用問題等をみますと、まだまだ安心できない状態にあると思われま。きびしい社会情勢の中で、日本の中小企業は、本当に正念場を迎えている事を、どなたも痛感されていることと思います。



川越市HPより

昨今、「ロータリーで暇をつぶす余裕はなくなった」という言葉を耳にいたします。事業不振を理由にして退会される方が居られるようです。国際ロータリーはこれを数年前から察知して、会員増強を最優先に考えて、各地区にお願いしております。どうすれば会員増強が出来るかということですが、ロータリーの魅力を考える必要があると思います。第一に知り合いを広めることです。人間は孤独で有ります。特にロータリアンはそれぞれの企業のオーナーで、一人で決断することが多く、孤立しているのが日常です。ロータリーによってこの孤独が癒されるのではないのでしょうか。

私は絵を描いておりますが、芸術というものは、そうした人間の一番根底にもっている侘しさ、生きるための寂しさ、つらさの心情を根底にして、制作され、作品に接した人に語り

かけ、感動を与え、心が癒されるのが本当の芸術のあり方であると思います。西洋のいろいろな作品、宗教画などを見ても、作者自身の人生の思いが込められており、胸を打つものがあります。

人間は淋しがり屋です。ロータリーは、そのさみしさを癒すところでなければなりません。「例会に出れば、あの人に会える。あの人と話が出来る」そうした楽しみがあります。例会に出席することによって生きる楽しさを感じることが大切です。ロータリーは心を許し合える友人を作るところであります。そして質の良い会員を増やすことです。

会員の皆さんも忙しい方が多く、例会中でも事業のことを考えたり、又帰りを急ぐあまりに、席を立つ時、満足な挨拶をしないで退出されます。別れる時には「楽しい例会でした。来週も又、元気で会いたいですね。お世話になりました」という心を込めて、明るく挨拶をしたいものです。そうすることが、次週の出席にも影響するのではないかと思います。

今後ますます、皆様のロータリーにおけるご活躍をお願いいたします。ありがとうございました。

相原茂吉氏（洋画家・相原求一郎） 川越 RC

1977-78年度 第257地区ガバナー 故人

Shiki Weekly Archive

●出席報告 出席向上 委員長 高野邦夫		
会員数44名	出席義務者35名	免除者9名
本日出席 35名	本日欠席 3名	本日出席率 92.11%
前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率 (一休会一)